

齋賀医院壁新聞

文献情報と院内案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< [下肢潰瘍](#) | [TOP](#) | [C型肝炎の母子感染\(垂直感染\)](#) >>

2017年10月28日

<< 2021年10月 >>

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

最近の記事

- (10/27) [小児は新型コロナ感染後の抗体は少ない](#)
- (10/26) [自宅での抗原検査の盲点](#)
- (10/22) [免疫不全状態でない小児の帯状疱疹の検討](#)
- (10/20) [プライマリケアにおける抗うつ薬の継続と中止との比較](#)
- (10/18) [高齢者の強化血圧コントロール: 中国からの報告](#)

最近のコメント

- [高血圧の治療目標・本年度のガイドラインより](#) by (10/24)
- [免疫不全状態でない小児の帯状疱疹の検討](#) by (10/23)
- [小児にとってデルタ株は意外に軽症かもしれない](#) by (10/17)
- [インフルエンザワクチンと心血管疾患・その有効性](#) by (10/15)
- [前立腺がんのスクリーニング・PSA](#) by (10/04)

タグクラウド

カテゴリ

- [小児科](#)(205)
- [循環器](#)(224)
- [消化器・PPI](#)(140)
- [感染症・衛生](#)(245)
- [糖尿病](#)(120)
- [喘息・呼吸器・アレルギー](#)(95)
- [インフルエンザ](#)(105)
- [肝臓・肝炎](#)(61)
- [薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(47)
- [脳・神経・精神・睡眠障害](#)(45)
- [整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(31)
- [ワクチン](#)(58)
- [癌関係](#)(11)

スタチン系(脂質異常症治療薬)は糖尿病を誘発?

スタチン系(脂質異常症治療薬)は糖尿病を誘発?

Statin use and risk of developing diabetes: results from the Diabetes Prevention Program



以前よりスタチン系薬剤と糖尿病の関係が問題になっていました。今回はビッグジャーナルのBMJからの論文です。

簡単に要約しますと

- スタチンにはpleiotropic actionsにより、脂質異常の改善ばかりでなく抗炎症作用により、血管内皮障害や酸化ストレスに対する改善で心血管疾患の予防効果がありますが、「逆も真」で、長期のスタチンの使用が、糖尿病に繋がる事もあるとしています。
- 25歳以上の糖尿病のリスクの高い人を3,234名調査しています。20%が60歳以上。糖尿病のリスクが高い人とは
 - ・BMIが24以上 (アジア系では22以上)
 - ・空腹時血糖が 95~125
 - ・75g糖負荷試験でIGT(2時間血糖)が 140~199
- 介入(治療)を下記の3群にしています。
 - コントロール群
 - 積極的なライフスタイルの改善群
 - メトフォルミン投与群
- 当初はスタチンの投与は~4%でしたが、10年経過で3群とも35%前後
- 投与されていたスタチンは
 - リポバスが40%、リピトールが37%、 Crestor が9%、
 - メバロテンが8%でした。
- 以前の研究と同様にバイアスが係っている可能性が多く、スタチンを投与された群は、軽度ながら空腹時血糖とHbA1cは高く、インスリンインデックスは低い傾向でした。更に、当然ながらスタチン投与群では血圧、脂質異常、心血管疾患の合併も多い傾向でした。
- しかし、本研究で上記のバイアスを統計学的に処置しても、明らかにスタチンを投与する事により糖尿病の発生が36%増加していました。(スタチンの服用期間との関係のグラフは原文も画像が悪く、また私は統計学に疎いので、危険率の表のみを添付します。下記のPDFをご参照ください。)この傾向はスタチンの種類(ストロングスタチン)には関係ありませんでした。
- 原因的な考察が論じられていますが明白な結論には至っていません。インスリンの分泌低下はありそうですが、インスリン抵抗性は証明されませんでした。スタチンそのものの作用ではない様です。文献の表現を借りると、スタチンが糖尿病状態に対してuncoverするとしています(?)
- スタチンの心血管疾患における有効性は、既に証明されています。糖尿病の危険因子があるからと言って、スタチンを中断すべでないと述べています。但し本研究の前糖尿病状態の人は、殆どが糖尿病に対する認識が少なかった点も留意すべき、としています。

- [脂質異常\(28\)](#)
- [甲状腺・副甲状腺\(19\)](#)
- [婦人科\(8\)](#)
- [泌尿器・腎臓・前立腺\(39\)](#)
- [熱中症\(7\)](#)
- [日記\(20\)](#)
- [その他\(70\)](#)

過去ログ

- [2021年10月\(15\)](#)
- [2021年09月\(13\)](#)
- [2021年08月\(16\)](#)
- [2021年07月\(12\)](#)
- [2021年06月\(16\)](#)
- [2021年05月\(16\)](#)
- [2021年04月\(14\)](#)
- [2021年03月\(18\)](#)
- [2021年02月\(19\)](#)
- [2021年01月\(16\)](#)
- [2020年12月\(17\)](#)
- [2020年11月\(15\)](#)
- [2020年10月\(17\)](#)
- [2020年09月\(19\)](#)
- [2020年08月\(14\)](#)
- [2020年07月\(17\)](#)
- [2020年06月\(14\)](#)
- [2020年05月\(21\)](#)
- [2020年04月\(18\)](#)
- [2020年03月\(18\)](#)
- [2020年02月\(18\)](#)
- [2020年01月\(19\)](#)
- [2019年12月\(14\)](#)
- [2019年11月\(15\)](#)
- [2019年10月\(18\)](#)
- [2019年09月\(18\)](#)
- [2019年08月\(14\)](#)
- [2019年07月\(14\)](#)
- [2019年06月\(16\)](#)
- [2019年05月\(14\)](#)
- [2019年04月\(18\)](#)
- [2019年03月\(19\)](#)
- [2019年02月\(19\)](#)
- [2019年01月\(15\)](#)
- [2018年12月\(16\)](#)
- [2018年11月\(20\)](#)
- [2018年10月\(20\)](#)
- [2018年09月\(18\)](#)
- [2018年08月\(24\)](#)
- [2018年07月\(18\)](#)
- [2018年06月\(18\)](#)
- [2018年05月\(20\)](#)
- [2018年04月\(19\)](#)
- [2018年03月\(20\)](#)
- [2018年02月\(14\)](#)
- [2018年01月\(14\)](#)
- [2017年12月\(20\)](#)
- [2017年11月\(17\)](#)
- [2017年10月\(22\)](#)
- [2017年09月\(18\)](#)

以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

私見)

何はともあれ、「逆も真なり」の事もありスタチンのpleiotropic actionsを過剰に信頼しないで、スタチン投与の際は、糖尿病の発生に充分注意が必要なようです。

[Statin use and risk.pdf](#)

[スタインと糖尿病.pdf](#)

[スタチンの代謝.pdf](#)

0 0
いいね!

ブックマーク

【脂質異常の最新記事】

- [75歳以上の高齢者における脂質異常症の治..](#)
- [non-HDLコレステロールと心血管疾患..](#)
- [脳梗塞後の至適コレステロール値は?](#)
- [心血管疾患に対する脂質異常症の管理](#)
- [脂質異常症治療薬・スタチンの一次予防効果..](#)

posted by 齋賀一 at 15:46 | [Comment\(1\)](#) | [脂質異常](#)

この記事へのコメント

先生、最近気づいたのですが...

黒目の眉毛側のふちが、左右とも1mm位グレーになってきていて~(°o°)

今まで気づかなくて、途中からこうなったのかも定かでないのですが...

何かの病気なのか、老化現象なのでしょう...(^_^;)

今度診て下さい~(^-^)/

Posted by at 2017年10月28日 22:48

コメントを書く

お名前:

メールアドレス:

ホームページアドレス:

コメント:

確認する 書き込む

